

祖母との思い出

田面木小学校 六年 林 杏

私は、花が好きです。なぜなら、大好きな祖母が庭でたくさんの花を育てているからです。

祖母が庭で育てていた花は、しょうぶ、すいせん、チューリップ、りんどう、バラ、あじさい、すずらん、すみれ、ゆりでした。私は特にすずらんが好きです。私が祖母の家に行ったときにすずらんを見て、可愛らしい花だなと思ったことが、花に興味を持つきっかけになったからです。

すずらの花言葉は、「純粹」や「再び幸せがおとずれる」というものがあり、すずらのベル型で純白な花の様子は、清らかな心を表していて、その美しさから「純粹」の象徴といわれています。

他の花の花言葉や意味もたくさん調べました。その中で私が好きな花言葉は、カンパニュラの「感謝」という花言葉です。

カンパニュラは私の家で育てていて、他にも、ききょう、サフラン、百日草、矢車草、ミニひまわりを育てています。この花は、亡くなってしまった祖母の仏壇にお供えするた

めに育てています。祖母がいたころは、祖母の庭にさいている花の世話の手伝いをしていて、それが楽しかったので自分の家でも花を育てるようになりました。

花を育てると、水やりなどで朝きちゃんと起きなければいけなくなるので、生活リズムを自然と整えられるようになり、夏休みや冬休みの間も健康に過ごすことができます。それに、芽が出て花がさくまでの過程を見て楽しむこともできます。花を育てるのは大変だけれど、大切に育てた分、きれいな花をさかせてくれるので、花がさいたときはとてもうれしいし、がんばってよかったなと思えます。

立派にさいた花は、家にかざったりもします。花びんに入れて、玄関に置いておくと、学校や買い物から帰ってきたときに様子を見たり、手入れをしたりすることもできるので、花がすぐかれてしまうこともなく、長い間きれいな花をながめられます。

仏壇にお供えするときは自分で花を生けてお供えするようにしています。母にアドバイスをもらいながらするので、花を生けるためのこつも学べます。それに、次に花を生けるときに参考になるので、よく母にこつを聞いて、以前お供えしたときより少しでもきれいに

に見えるようになればいいなと思いながら練習しています。

私は今、色々な花を育てていますが、祖母の庭の花はあまり育てたことがないので、いつか、花に興味を持つきっかけになったすずらんや、祖母が特に好きだったすみれなども育てて、花がさいたら祖母の仏壇にお供えしようと思います。